

県と市町村の協働による「市町村の電子書籍システム」

1 概要

新潟県と新潟市を除く 29 市町村が協働し、1 つの電子図書館を共同での運営について、各自治体と協議及び学習会・ワークショップ等を開催し、検討をおこなっている。

2 電子書籍システム

(1) 概略

パソコン、スマートフォン、タブレットから、インターネットを通じて電子書籍の検索・貸出が可能。特別なアプリのインストールは不要。

(2) 電子書籍数（コンテンツ数）

3,333 冊（1 冊に対し同時に 3 アクセス可能）＋児童向け読み放題パック＋青空文庫

＊児童向け読み放題パック…同時接続数に制限のない児童向け図書のセット。

＊青空文庫…著作権が消滅した作品や著者が許諾した作品を無料で電子書籍で提供。

(3) 電子書籍システムの導入による効果

- ・読み上げ機能、文字拡大機能 → 障がい者・高齢者の生きがい創生
- ・学習参考書や問題集の活用 → 学力の向上
- ・GIGA タブレットを活用した読書習慣の定着 → 読む力、読み解く力の向上
- ・24 時間利用可能 → 読書機会の公平性の担保

(4) 予算・運営体制

①予算 国の補助金を活用し、参加自治体の負担金で検討中

②運営体制 新潟県と参加自治体で協議中

3 行程

令和7年3月～令和8年3月 県・市町村協議・ワークショップ・学習会等

令和8年8月 電子書籍サービス開始予定